

自治体（他地域）への事業紹介活動

（担当：遠座）

8・9月の動き

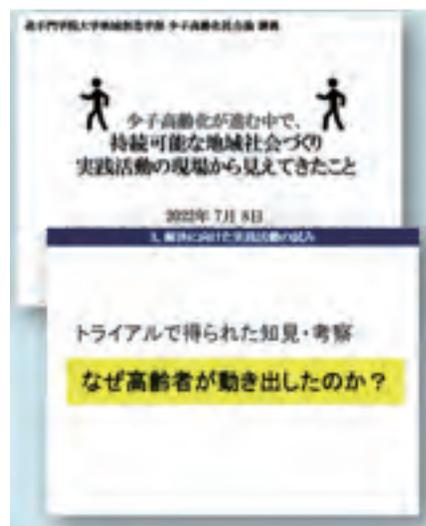
大東市（高齢支援課）から、定年前後の市民が後半人生を地域で充実して暮らすための社会参加に向けた「大東夕学」講座（10月～2月 5回シリーズ）主担当：井川京子）を受託するなど、下期に向け様々な動きがありました。

7月6日 大阪大学吹田キャンパス人間科学研究科東館ユメヌホールにて『プチ就労機会の企画・開発活動について』と題して60分の講演+30分の質疑・意見交換を実施しました。同大学院人間科学研究科榎藤教授（老年学）の依頼です。

人間科学研究科だけでなく、医学研究科など教員、関西大学など他大学含めた大学院生、オンラインにて市民参加者など約40名が参加されました。会場から「話のロジックがしっかりしており、なるほどと聞き入った。」「自分の講義の3回分くらいの内容があった。（榎藤教授）」「プチ就労の全国展開に際し、自分たちの立上げる研究プロジェクトを連携できないか？（医学研究科山本准教授）」などの感想や提案をいただきました。



この話は、その後、大阪大学大学院医学系（高齢・総合内科学）チーム+医療系I TスタートアップA社（東京）との「高齢者が『幸福長寿を目標に運動やプチ就労をしたくなり』、事業者が高齢者に『プチ就労をしてもらいたくなる』ウェアラブルデバイスの開発と社会への普及に向けた研究計画」プロジェクト（以下PDpj）として、長寿科学振興財団の助成金公募に応募することになりました。更に大阪府福祉部高齢支援課も強い関心を示されたため、大阪府も巻き込んだ大阪関西万博2025での発信を念頭に置いた事業に発展する見込みです。



7月8日 追手門大学総持寺キャンパスにて地域創造学部少子高齢社会論の最終日講義として『健康生きがい就労とNPOについて』をお話ししました。同大学加茂教授から“学生に宝塚での現場で活動している人の生の話を聞かせたい”との依頼によるものです。他の学部生も聴講に来ており、「社会との繋がりが人を生き生きさせていくことがよくわかった。…人間社会にとって大きな希望だと強く感じた。（学生）」「非常に内容のある話だ。来年も是非話をして欲しい。（加茂教授）」などの感想が寄せられました。

7月11日 大阪市高齢者施策部高齢福祉課の紹介で、大阪ガスネットワーク株式会社エネルギー・文化研究所金澤所長（NPOの監事でもあります）と大阪市西区老人クラブ連合会を訪問し、NPOで実施しているスマホ講座について説明しました。西区老人クラブ連合会の生島会長から同会メンバー向けの講座実施について即座に依頼があり、10月1日から、全3日間の初心者向けスマホ講座の実施が決まりました。初日は大阪府が10月1日大阪ガスHUGミュージアムで行うイベントに併催して大阪ドーム横のHUGミュージアムで開催し、西区長らも視察に来られます。



7月19日 神奈川県相模原市緑区津久井でピザ料理店を営みながら市民活動をされている“童人夢農場”代表の梅澤勉さん（井川副理事長、山口事務局長とは旧知）と面談しました。

津久井地区はキャンプ場がある自然豊かな土地だが過疎化が進んでいて、移動難民となっている高齢者も多い。ついては、車の運転も行う高齢者のプチ就労で地域の課題を解決していきたいとの相談を受けました。今後、行政も巻き込みながら課題解決していくお手伝いを検討していく予定です。

7月25日 兵庫県たつの市で様々な活動を展開しているNPO法人いねいぶる宮崎理事長を訪問しました。

宮崎氏は、地域を活性化するプロジェクトを立ち上げ、軌道に乗ったら自治体（たつの市）施策としてハンズオンしていく活動をされているため、市に説明するためのアンケートなど活動成果について作業療法士らしくエビデンス・知見を蓄積されています。「人は、周囲から指摘されることで自分の老いを感じる。社会からの期待の低下が自分への期待に反映され生活が不活発化していく。これは障がい者も同様であり、年齢や障がいによる社会の概念（その人に対する社会からの期待値の低下）を変えていく…高齢者や障がい者の心の持ちようが低下しないよう“社会（周囲）”に目を向け、そこに働きかける活動しているという言葉に強く共感しました。



（写真中央が宮崎氏）

8月22日（水）FM宝塚「市長と語りましょう」で、5月にオープンし、スマホ相談カフェなどを開催している地域拠点「ここおる」について、一緒に運営している子育て支援グループ宝塚ミライキャンパスの榎井代表と一緒に紹介しました。山崎晴恵市長もここおるの活動に大変関心を寄せられています。

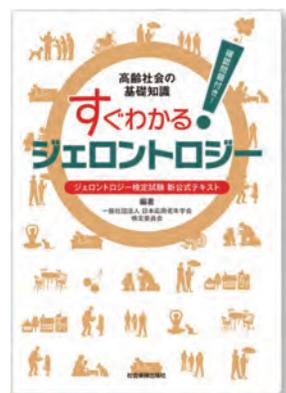
8月27日（土）宝塚市お互いさまのまちづくり縁フェスが宝塚市立中央公民館で開催されました。パネルディスカッションにパネラーとして参加し、エイジフレンドリーシティ縁卓会議の健康・生きがい就労部会から始まった当法人の紹介をしました。

また、スマホ相談ブースも公民館ホールに開設し、来場者からの相談を受けました。



応用老年学会が主催する「ジェロントロジー検定試験」は今年で第16回を迎えますが、今回から大阪でも受験できることになり（大阪大学豊中キャンパス）、その運営に遠座もあたることになりました。

世界のトップを行く日本の高齢化…今後ジェロントロジー（老年学）はますます重要になります。右の教科書で、医療や介護、社会保障はもちろん、シニアビジネスの可能性からシニアの心と体、生活、地域に必要な知恵と方策、すべてのが要領よく学べます。そして高齢社会ならではの成熟したパワーの見つけ方がわかります。



これからの自分の生き方や暮らし方を自分で選んでゆくためにも、さらに人の役に立ち、社会を活性化するためにも、そしてシニアの力をビジネスに生かすためにも、必要不可欠な情報がまとめて身につく検定試験です。

10月30日（日）午後2時30分～ 90分の試験です。ご興味のある方は次のWebページをご覧ください。

<https://www.sag-j.org/kentei/index.html>

9月の予定

・大阪大学・A社とのPDpjの具体化調整、高石市への健康・生きがい就労説明など

啓発・研修事業分野 (担当：山口)

1) フレミラ宝塚スマホ講座関連

フレミラ宝塚の7月のスマホ講座は3講座6日間、8月は1講座3日間実施しました。スマホライフのAndroidコースとiPhoneコースの2年生は7月に遠足で神戸どうぶつ王国へ行った時に撮影した写真を紹介しました。またグループ写真をそれぞれ好きなポーズで撮って楽しみました。2年生の前期は7月で終わって後期は9月からになります。

実用スマホコース前期コースは7月に4回、8月に3回実施して合計13回の講座を実施して終了しました。

実用スマホコース (初心者向け)

7月7日、14日、21日、28日、8月4日、18日、25日
 スマホライフ Android 編 2年生 7月6日
 スマホライフ iPhone 編 2年生 7月7日

2) 摂津市社会福祉協議会の2022年度のスマホ講座は6月から始まり、7月は昨年度受講された方のフォローとして「スマホ相談カフェ」と「Zoomの講座」をセットで実施しました。それと併せて新しく初心者向けのスマホ講座も12日と26日に実施しました。8月に予定されていた9日と23日の2回の講座はコロナ感染拡大で延期になりました。

3) ここおるで7月5日に山本聖也講師を迎えて講師・チューター研修会を実施しました。事前に質問をそれぞれから出して回答する形で実施したので、日頃からの疑問が解決できたと思います。

*9月の予定

フレミラ宝塚

スマホで宝塚グラファー養成講座 1日、15日、29日

実用スマホコース (初心者向け) 後期 8日、22日

スマホ Android 2年生 7日、21日

スマホ iPhone 2年生 8日、22日

摂津市社会福祉協議会

初心者向けスマホ講座 5日、20日

スマホ相談カフェ+プラス講座 20日

川西市川西公民館 Android 初心者向け 13日、27日

自主開催チューター養成講座 15日、29日



いきいき学舎 iPhone コース 2年生 2022.7

roving report②

事業分野を跨いだ活動をしている言わば遊軍のレポート (担当：井川)

大東市で進めさせていただいている大東夕(せき)学。10月27日木曜日から毎月第4木曜日18:00から20:00に、アクロス(大東市生涯学習センター)で開催します。大東市で活躍する方のお話を聞き、その後、ワークショップを実施。どこの自治体もなかなか集められないと言われるシニア男性をメインターゲットとし、地域で活躍したい人を発掘し、地域創生リーダーに育成。フレミラや摂津市での活動がない時は、大東市に出向き、大学教授や商店街活性化を实践している方と面談し、ご協力をお願いして回っています。デジタルの時代ですが、やはり、実際にお会いすると、皆さん、きちんと応えてくれます。お会いするたびに、手応えを感じています。